



アマチュアオーケストラ

新交響楽団第244回演奏会

The New Symphony Orchestra - 244th Concert

指揮 飯守 泰次郎

IIMORI Taijiro, conductor

WAGNER ワーグナー

歌劇 トリスタンとイゾルデ

第1幕への前奏曲 / 第2幕全曲 / 第3幕第3場 (演奏会形式・日本語字幕つき)

Richard WAGNER (1813-1883) Tristan und Isolde (Concert Style)

Prelude to Act 1 / Complete Act 2 / Act 3, Scene 3

トリスタン: 二塚 直紀 イゾルデ: 池田 香織 マルケ王: 佐藤 泰弘 ブランゲーネ: 金子 美香

クルヴェナール: 友清 崇 メロート: 今尾 滋 牧童: 宮之原良平 舵取り: 小林 由樹

NIZUKA Naoki, Tristan IKEDA Kaori, Isolde SATO Yasuhiro, Marke, King of Cornwall KANEKO Mika, Brangäne

TOMOKIYO Takashi, Kurwenal IMAO Shigeru, Melot MIYANOHARA Ryohhei, A shepherd KOBAYASHI Yoshiki, A steersman

Design: IMAO Keisuke

池袋駅西口 Ikebukuro Station, West Exit

13:00 開場

2019年1月20日 (日) 東京芸術劇場コンサートホール 14:00 開演

Sunday, January 20, 2019, 2:00pm (doors open at 1:00pm) at Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall

入場料 SS席: ¥4,000 S席: ¥3,000 A席: ¥2,500 B席: ¥2,000 (全席指定)

88ペアチケット (お二人様で合計 88歳以上のお客様は合計金額から 1,000円を割引いたします。下記コンサートイメージのみ取り扱い)

チケットのお申し込み・お問い合わせ: コンサートイメージ 03(3235)3777 *10:00 ~ 18:00 (日曜・祝日を除く)

チケットのお申し込み: チケットぴあ: 0570(02)9999 <http://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス: 0570(010)296 *10:00 ~ 19:00 (休館日を除く)

(PC) <http://www.geigeki.jp/t/> (携帯) <http://www/geigeki/i/t/> *0570で始まる電話番号は一部携帯電話・PHS・IP電話では受付ができません。

*点字プログラムを若干部用意しております。入口でお渡しいたしますのでお申し付けください。

*おそれいりますが未就学児のご入場はお断りさせていただきます。託児サービスをご利用ください (予約制・詳細は裏面)。

新交響楽団のホームページ <http://www.shinkyo.com/> 演奏会案内や曲目の解説、これまでの活動記録などがご覧いただけます。

昨年まで新国立劇場芸術監督を務め、世界トップレベルのワーグナー公演の数々を自らの指揮で成し遂げた飯守泰次郎によるワーグナーです。新交響楽団は1993年から共演を重ねており、これまでも「ワルキューレ」第一幕、「ニーベルングの指輪」抜粋、2006年に「トリスタンとイゾルデ」抜粋を取り上げました。それらの公演は新響演奏史に残る名演として語り継がれています。

このたびソリストをお呼びして久しぶりに本格的にワーグナーを取り上げるにあたり、新国立劇場では取り上げなかった「トリスタンとイゾルデ」を飯守氏が選ばれたことには大きな意味があるに違いありません。そしてイゾルデには、二期会の公演で同役を歌い絶賛を浴び、新国立劇場のワーグナー公演でも存在感を見せつけた池田香織をはじめ、現在日本で望みうる最高のソリストをお迎えいたします。

「トリスタンとイゾルデ」

ワーグナーと聞いてどのような曲を思い浮かべられるでしょうか。映画「地獄の黙示録」で使用された勇ましい「ワルキューレの騎行」、お馴染みの「結婚行進曲」や吹奏楽経験者なら知っている「エルザの聖堂への入場」で知られる「ローエン格林」、そして式典などでよく演奏される堂々とした「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲など、耳にする機会が多いと思います。今回取り上げる「トリスタンとイゾルデ」はその一部が「前奏曲と愛の死」としてオーケストラだけでも取り上げられます。中世の説話「トリスタン物語」をもとにしながらワーグナーが大胆に脚色して自ら台本を作成し、それに音楽をつけました。

オペラで演じられる部分のストーリーは非常に単純で、男女の主人公トリスタンとイゾルデの愛を極限まで凝縮したものとなっています。台本はワーグナーにありがちな「哲学的な」非常に理屈っぽいものなのですが、そこにつけられた音楽はたいへんに官能的な魅力にあふれており、聴く者を陶酔の境地に誘います。ワーグナーは無調音楽を志向したわけではないのに、官能性や劇的効果を極限まで追求した結果、調性音楽の枠を踏み越えたかのような革新的なものとなっています。今回は主人公二人の愛の場面をたっぷり味わっていただけるよう第二幕はカットなし、演奏会形式ではありますがすべての役に個別のソリストを配してお届けします。

飯守泰次郎のワーグナー

飯守氏はいまさら言うまでもなく、ワーグナー指揮の第一人者として国内外に名を馳せています。その演奏は、骨太の分厚い響きで重要な示導動機をたっぷりと鳴らす、あまり聴くことができなくなった伝統的なワーグナー演奏を思わせませす。音の出だしやリズムを指揮棒で強制的に合わせることを嫌い、音楽の必然のタイミングを奏者が感じとって自ずと合わせてくることを求め、また和声の美しさを非常に厳しく追及されます。アマチュアの新交響楽団に対しても容赦ありません。そのような厳しいリハーサルを経ることで、ワーグナーの最高傑作ともいわれる「トリスタンとイゾルデ」の陶酔の境地を出現させたいと考えています。どうかご期待ください。(H.S.)

今後の演奏会予定

<第245回演奏会>

2019年4月29日(月祝)14時 東京芸術劇場

指揮 湯浅 卓雄

曲目 芥川也寸志/オーケストラのためのラブソディ、バルトーク/舞踏組曲、シベリウス/交響曲第2番

<第246回演奏会>

2019年7月15日(月祝)14時 東京芸術劇場

指揮 矢崎 彦太郎

曲目 プロコフィエフ/バレエ音楽「ロミオとジュリエット」他

<第247回演奏会>

2019年10月13日(日)14時 東京芸術劇場

指揮 寺岡 清高

新交響楽団のプロフィール

新交響楽団は1956年に創立されたアマチュアオーケストラです。音楽監督・芥川也寸志(1925-89)の指導のもとに旧ソ連演奏旅行、ストラヴィンスキー・バレエ三部作一挙上演、10年におよぶ日本の交響作品展(1976年にサントリー音楽賞を受賞)、ショスタコーヴィチ交響曲第4番日本初演など意欲的な活動を行ってきました。

またマーラーの交響曲全曲シリーズ(山田一雄指揮、1979~90)、ベルリン芸術週間への招聘・邦人作品演奏(石井眞木指揮、1993)、伊福部昭米寿記念演奏会(2002)、石井眞木遺作「幻影と死」完全版初演(高関健指揮、2004)、ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」演奏会形式公演(飯守泰次郎指揮、2006)など、幅広い活動を積極的に展開しています。

維持会のご案内 ~良いお席を安く~

新交響楽団維持会は、新響の演奏活動にご賛同いただき支援して下さる方々の組織です。集まった会費は、楽器購入や演奏企画に活用しています。会費は一口10,000円で、2年間有効の5枚綴りの回数券(どの演奏会でも一度に何枚でも使用可能)を差し上げます。良いS席を優先的に確保いたしますので当日その中からお選びいただけます。お申込みは郵便振替にて直接会費をお振込みください。郵便振替口座:00130-0-28074「新交響楽団維持会」

団員を募集しています

音楽監督の故芥川也寸志が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、新しい力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧ください。見学・オーディション等のお問い合わせはE-mail:shinky@music.nifty.jp

練習は毎週土曜日午後6時~9時、東京芸術劇場(池袋)、クラシック・スペース☆100(大久保)他にて。

演奏会当日の託児サービスのご案内

東京芸術劇場でのご鑑賞の際には、施設内の託児室をご利用いただけます。土日祝日を除く公演日一週間前までにご予約ください。3ヶ月~1歳2,560円、2歳~6歳児2,160円。お申込み・お問合せ:HITOWAキャリアサポート株式会社わらべうた電話0120-415-306(平日9:00~17:00、土日祝日休み)